



平成29年度 サンドバイパスシステム運転状況

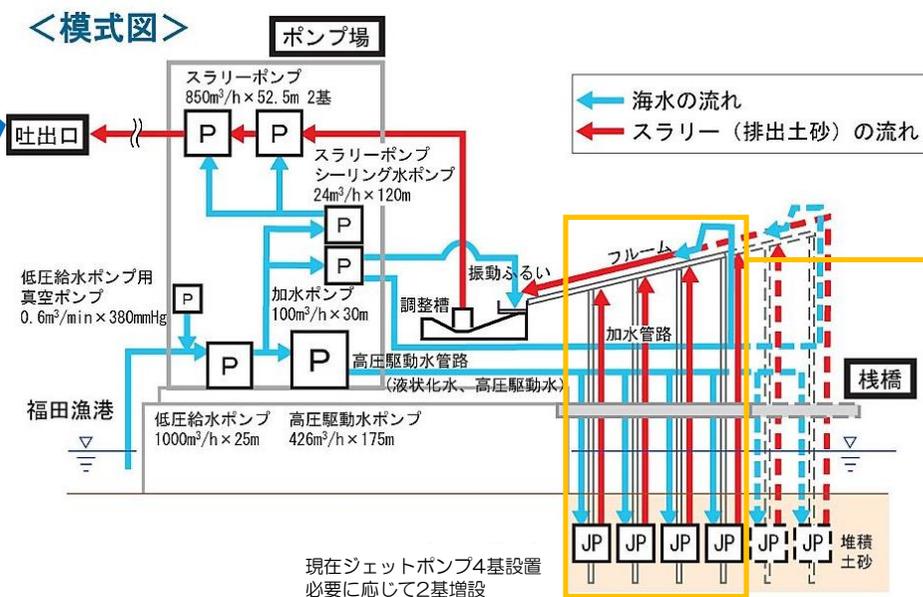
サンドバイパスシステムは、福田漁港の港口の埋没防止、浅羽海岸の侵食防止対策のため、年間土砂移動量80,000m³を目標とし、平成26年3月より運転開始しました。

- 運転開始から平成30年3月までに、浅羽海岸に290,051m³土砂移動しました。
- 平成29年度（1年間）は、設備修繕やジェットポンプの引き抜き、位置（高さ）調整等の大規模なメンテナンスを行ったこともあり、56,899m³の土砂移動となりました。



サンドバイパスシステムの仕組み

<模式図>



栈橋は、福田漁港西防波堤から沖に向かって設置されています。栈橋にはジェットポンプを取り付け、海底から土砂を採取します。

ジェットポンプの仕組み



液状化水（青色）を海底面に吐き出して、堆積した土砂を緩めて舞い上げらせ、高圧駆動水（白色）と一緒にスラリー（赤色）として吸い上げます。
 *スラリー：土砂が混じった海水